



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「ボイジャー1号」

一九七七年に米探査機「ボイジャー1号」が太陽系の端の領域を越え、人工物体として初めて太陽系外に広がる星間空間に旅立ったことが確認された、というニュースをNASAが米科誌サイエンス電子版に発表した。ボイジャー1号が太陽系の最も端に達していたことは分かっていたが、新たなデータ分析の結果、昨年の8月の時点で太陽系外に出ていたことが判明した。NASAの研究者は「星間空間に人類が踏み出した歴史的な出来事だ」としている。NASAのチームは、ボイジャー1号が今年春に観測したデータを使い、太陽から送り出される「太陽風」と呼ばれる粒子の流れと、太陽系外から飛来する宇宙線の変化を詳しく分析。太陽風が衰える一方、宇宙線に由来する電子の密度が高くなっていることから、ボイジャー1号はすでに星間空間にあると結論付けた。ボイジャーは木星や土星に接近して多くの写真を撮影、現在は太陽から一九〇億キロ離れたところを時速約6万キロで飛行中。地球に信号が届くまでに片道十七時間かかる。機内には地球外の知的生命体に遭遇した場合に備え、世界五十五カ国のあいさつや音楽、太陽系の位置などを記録した銅製のレコードを搭載している。ボイジャーはいつも進む方向に向かって映像を撮り続けるが、一度だけ振り返って写したことがあった。その画像には一点の光る物体が写っていた。それが地球であった。だが、それは暗黒の中のごく小さな一点にすぎないので、地球の青さも雲の白さも確認はできない。でも、そこに七十億もの人類が住んでおり、無数の生き物が存在している命溢れる生命体である。しかし、宇宙から見ると、何とちっぽけな物体であることか。ボイジャーが人類の手を離れて三十六年、二〇二〇年までには電池が働くので、それまでは宇宙の映像を送り続けるという。HNK論説委員が語っていたが、ボイジャーが太陽系を離れ、星間空間に突入してしまった今、次の星にたどり着くまで、後4万年もかかるという。果たして、その頃の地球はどうなっているのだろうか？

かつて主はアブラハムに臨んで言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい：あなたの子孫はあのようになるでしょう」（創世記十五・5）。アブラハムが天を仰いだ時、彼はそこに人知をはるかに超えた神の偉大な創造に魅せられ、神の前にひれ伏したのだった。4万年後にボイジャーが、他の星に到達したというニュースが届く時、私たちは新天地で、心から主を礼拝しているのだろうか。星空は私たちを限りないロマンに掻き立てる。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

